

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成23年5月26日(2011.5.26)

【公開番号】特開2010-203481(P2010-203481A)

【公開日】平成22年9月16日(2010.9.16)

【年通号数】公開・登録公報2010-037

【出願番号】特願2009-47355(P2009-47355)

【国際特許分類】

F 16 C 17/03 (2006.01)

F 16 C 33/10 (2006.01)

【F I】

F 16 C 17/03

F 16 C 33/10 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月13日(2011.4.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

軸受け荷重が下方にのみ働く水平に設置された回転機械の回転軸を回転可能に軸受け支持するジャーナル軸受であって、

上半部キャリアリングおよび下半部キャリアリングを備えたキャリアリングと、前記下半部キャリアリングの半径方向内側のみに間に隔を開けて配置され、前記回転軸の荷重を受ける複数のパッドと、各パッドの周方向における両端部にそれぞれ配置されて、各パッドの周方向への移動を拘束する複数のパッドトップとを備え、

前記パッドトップのうち、前記回転軸の軸回転方向において最も後側に位置するパッドトップ以外のパッドトップは、前記回転軸の外周面と前記パッドの内周面との間に潤滑油を放出する給油ノズルとしての機能を備えていることを特徴とするジャーナル軸受。

【請求項2】

給油ノズルとしての機能を備えたパッドトップからは、同量の潤滑油が放出されるように構成されていることを特徴とする請求項1に記載のジャーナル軸受。

【請求項3】

前記回転軸の軸回転方向において最も後側に位置するパッドトップは、それ以外のパッドトップよりも少ない量の潤滑油を出し、軸受内の潤滑油の減温をすることを特徴とする請求項1または2に記載のジャーナル軸受。

【請求項4】

請求項1乃至3に記載のジャーナル軸受を備えていることを特徴とする回転機械。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上記課題を解決するため、以下の手段を採用した。

本発明に係るジャーナル軸受は、軸受け荷重が下方にのみ働く水平に設置された回転機械の回転軸を回転可能に軸受け支持するジャーナル軸受であって、上半部キャリアアーリングおよび下半部キャリアアーリングを備えたキャリアアーリングと、前記下半部キャリアアーリングの半径方向内側のみに間隔をあけて配置され、前記回転軸の荷重を受ける複数のパッドと、各パッドの周方向における両端部にそれぞれ配置されて、各パッドの周方向への移動を拘束する複数のパッドトップとを備え、前記パッドトップのうち、前記回転軸の軸回転方向において最も後側に位置するパッドトップ以外のパッドトップは、前記回転軸の外周面と前記パッドの内周面との間に潤滑油を放出する給油ノズルとしての機能を備えている。